1928. 8. 8.　全国単一労働組合総聯合関東地方協議会

東京市芝区
愛宕町三一
関東電気内

戦機いよいよ熟し
我東電全従業員
果然 サボに入る
一斉罷業の目前に迫る!!。

東力と合同せる東電資本家は、二人・三人と愈々陰険なる三千人馘首の大ナタを奮ひ、首切りの第一歩を開始した、再度の交渉にも関らず言を左右にして、何等誠意を示すどころか、官犬と結托せる会社の露骨極まる首切り開始に隠忍の緒を切つた一万三千の全従業員は一斉に起つてサボを敢行し、初志を貫行せんと、死を賭して斗争の火蓋を切つた

戦雲は愈々急をつげ、要求いれられずんば断然罷業を以て之に答へんとしてゐる

東電の兄弟を勝たせろ!!。

職場大会・従業員大会を開いて応援を決議しろ!

共に起つて諸君の不平・不満を資本家に叩きつけろ!

応援募金の雨をふらせ!

組織的暴圧の嵐の真只中に
我関電争議応援委員会の活動は進む

各協議会を中心に、急遽編成された、関電争議応援委員会は、官犬の兇暴狂ひの暴圧と探索との中に、確固たる組織を打樹て、精力的な応援を遂行してゐる。我協議会加盟組合は勿論あらゆる無産団体は、東電の兄弟を勝たせると檄を飛して一斉に立つた。斗士は後から／＼警戒の網の目をくゞつて、組織的に這入りこみ、八日未明全国に、五万の檄はとび、各地域々々に無産団体協議会を開き、全産業に亘つての集中的な応援は組織されんとしてゐる

基金募集運動もその後益々拡大され、最後まで一糸乱れざる応援をなすべく突進しつゝある

俄然各所に大停電続出!!

一大音響と共に十数尺の大スパーク

三十一日午后八時、突如東電田代系は線路鉄塔間に、雷の如き一大音響と共に、十数尺の一大スパーク起り、発電気は物凄く一大ゴイ音響をたて、一大停電がおこり、大森、蒲田、目黒、川崎一帯は長時間に亘る暗黒世界と化つた。

× × × ×

全日午后六時 銚子線にも碍子パンクが起り、銚子付近一帯大停電

× × × ×

全日午后七時半早川線は大電圧ドロップと共に停電し、小田原一帯暗黒となり、横須賀線及東海道線の列車は十分間に亘つて立往生

× × × ×

三十一日主要系統電話線は断線、音信は杜絶し陰惨の気は漲つてゐる

碍子のスパーク、大電圧のドロップ、電話線の切断等々事故続出し、会社が勝つか、労働者が勝つか、戦ひは酣である、戦ひか此か、資本家か労働者の道はいづれか一つだ!

工場から電線から応援の叫びはあがる!!。

東電の兄弟の勝敗は、又他全労働者の運命にかゝると!

東電全従業員の諸君が一斉に斗争を決行するや、労働組合戦線統一へと歩を進めた関東労働組合会議は同じく関電争議応援の為の近く召集されんとしてゐる

× × 、、、

新労農党準備会は各地支部に応援を指令を発行すると共に、無産大衆の先頭に立つて激発に、電燈料値下を中心に近く全労働者大会を開かんとて応援に邁進してゐる

全労働者・小市民はすダレをうつて大会へ押かけろ!!

、、、

市電自治会・市電従業員組合も共同して、待遇改善の要求でかゝげ、この争議を援けに一大会団をを決意してゐる。